

土木工事成績評定審査項目別運用表の目次

		監督員	主任監督員等	総括監督員	検査員
施工体制	施工体制一般	2K①			
	配置技術者	2K②			
施工状況	施工管理	2K③			5K①
	工程管理	2K④	3K①		
	安全対策	2K⑤	3K②		
	対外関係	2K⑥			
出来形及び出来ばえ	出来形	2C⑦			5C①
	品質(又は施工特性)	2C⑧			5C⑧
	出来ばえ				5C⑩
工事特性	工事特性		4C① ^{**}		
創意工夫	創意工夫		4C② ^{**}		
社会性等	地域への貢献等		4C③ ^{**}		
法令遵守	法令遵守		4K④ ^{**}		
その他	その他		4K⑤ ^{**}		

※総括監督員を置く工事の場合は、総括監督員が評定者、置かない場合は主任監督員が評定者。

品質(又は施工特性)、出来ばえ対応表

コード	5C⑧	5C⑩	2C⑧
1	1 コンクリート構造物工事	1 コンクリート構造物工事(海岸工事、トンネル工事を含む)	
2	2 土工事(切土、盛土、築堤等工事)	2 土工事(切土、盛土、築堤等工事)	
3	3 用排水(コンクリート等の2次製品、柵渠)	18 用排水路	
4	4 護岸・根固・水制工事、排水路工事	18 護岸・根固・水制工事	
5	5 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる。堰水門の工場製作を含む)	5 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる。堰、水門等工場製作を含む)	
6	6 砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)	19 地すべり防止工事	
7	7 海岸工事	1 コンクリート構造物工事(海岸工事、トンネル工事を含む)	
8	8 舗装工事	3 舗装工事	
9	9 法面工事	4 法面工事	
10	10 道路改良工事	21 道路改良工事	
11	11 基礎工事(地盤改良等を含む)	6 基礎工事(地盤改良等を含む)	
12	12 コンクリート橋工事	7 コンクリート橋工事	
13	13 塗装工事	8 塗装工事	
14	14 トンネル工事	1 コンクリート構造物工事(海岸工事、トンネル工事を含む)	
15	15 植栽工事	9 植栽工事	
16	16 公園工事	10 公園工事	
17	17 河川工事	11 河川工事	
18	18 下水道工事	12 下水道工事	
19	19 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	13 防護柵(網)工事	
20	20 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	14 区画線工事	
21	21 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	15 標識工事	
22	22 管水路工事	22 管水路工事	
23	23 フィルダム工事	23 フィルダム工事	
24	22 施設機械設備工事(用排水ポンプ・水門設備・除塵設備・鋼製付属品)	24 施設機械設備工事(用排水ポンプ・水門設備・除塵設備・鋼製付属品)	1
25	23 維持工事	16 維持修繕工事	
26	32 修繕工事	16 維持修繕工事	
27	24 浚渫工事	17 浚渫工事	
28	25 水管橋工事	25 水管橋工事	
29	26 農地造成工事(面関係・隔障物)	26 農地造成工事(面関係)	2
30	26 農地造成工事(面関係・隔障物)	28 農地造成工事(隔障物)	2
31	41 農地造成工事(バドック)	27 農地造成工事(バドック)	
32	27 客土工事	29 客土工事	3
33	28 暗渠排水工事	30 暗渠排水工事	4
34	29 区画整理工事	31 区画整理工事	5
35	30 電気通信設備工事	32 電気通信設備工事	6
36	40 魚礁・増殖場工事(コンクリートブロックの場合)	33 魚礁・増殖場工事(コンクリートブロックの場合)	
37	5 鋼橋工事に準ずる	34 魚礁工事(鋼製魚礁の場合)	
38	1 コンクリート構造物工事	35 囲い礁工事	
39	5 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる。堰水門の工場製作を含む)	35 囲い礁工事	
40	31 外構工事	20 外構工事	
41	33 急傾斜地崩壊防止工事	4 法面工事	
42	34 防雪柵・雪崩予防柵・固定式視線誘導標柱等設置工事	36 防雪柵・雪崩予防柵・固定式視線誘導標柱等設置工事	
43	35 治山工事	37 治山工事	
44	36 林道工事	38 林道工事	
45	37 木製構造物	39 木製構造物	
46	38 魚礁工事(鋼製)	34 魚礁工事(鋼製魚礁の場合)	
47	39 増殖場工事(転石礁)	40 増殖場工事(転石礁)	
51	3 用排水(コンクリート等の2次製品、柵渠)	18 用排水路	7
52	9 法面工事	4 法面工事	8
53	20 管水路工事	22 管水路工事	9

※ 色は「施工特性」(コード 51,52,53 は、品質がばらつきで判断出来ず、施工特性で判断する場合に使用する。判定出来る場合は、コード 3,9,22 を使用すること)